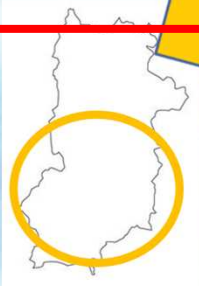




# 交換留学ならto奈良


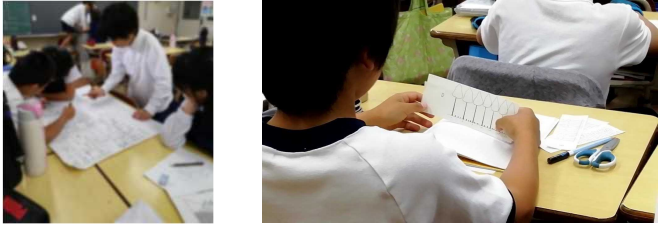

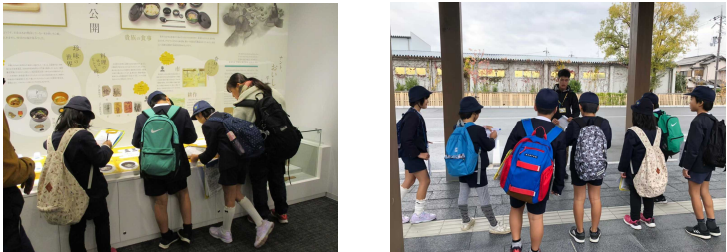
～次世代育成に繋がる、  
北部・南部の小学生の  
交流と魅力発信～



# 事業を進める過程

(2018年7月～2019年末)

日付	内容
2018年 7月下旬	「県内大学生が創る奈良の未来事業」の書類による一次審査を受ける
8月31日	公開コンペにて優秀賞受賞、政策の事業化が決定   
11月15日	奈良県知事に事業についてプレゼンする
2月12日	川上村に視察に行く
2019年 4月	<ul style="list-style-type: none"><li>・月一回程度の頻度で県の職員の方を交えて検討会議を行う</li><li>・事業の方向性が決まる（小学校と協力して教育課程に入れてもらうことに）</li></ul>
6月下旬	北部の学校が奈良教育大学附属小学校（以下、附小）に、南部の学校が東吉野小学校（以下、東吉野小）に決まる
8月末	<ul style="list-style-type: none"><li>・附小の先生と社会見学の下見に出向く</li><li>・東吉野小の先生と顔合わせ</li></ul>

日付	内容
10月29日	<p>附小4年生の社会見学 (行先：奈良県川上村) に同行</p> 
11月上旬	<p>附小児童の様子を見るために授業見学</p> 
11月中旬	<p>附小と東吉野小のテレビ電話の設置リハーサル</p>
11月22日	<p>附小4年生の1クラスと東吉野小中学年の交流学習（模造紙やプレゼンテーションソフトを用いて、学んだことの発表やクイズ、質疑応答等）</p> 
11月28日	<p>東吉野小中学年の社会見学をプロデュースし、実際に引率（行先：平城宮跡）</p> 
12月以降	<p>事業の振り返りと来年に向けての準備</p>



# 川上村での林業学習 (奈良教育大学附属小学校)

## 1日の詳細スケジュール

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 8:30 大学出発          | 12:50 加工場到着。林業について<br>講話と実演 |
| 11:00 川上村役場でトイレ休憩  | 13:30 バスに乗り奈良市へ帰る。          |
| 11:20 白川渡到着。杉林を歩く。 | 15:30 大学到着・解散               |
| 12:00 昼食休憩         |                             |
| 12:40 移動開始         |                             |

### 吉野杉の林を歩く

### 木材加工の見学



#### 一言メモ

あいにくの雨となりましたが、細い木と太い木の間隔を比べたり、森林組合の方からお話を聞いたりしました。児童が事前に学んだ1m間隔で木を植え、間伐をしていくとどうなるかを実際に見ることができ、吉野林業最大の特徴である密植のイメージが湧いたと思います。



#### 一言メモ

木材をチップに加工する場面を見学しました。チェーンソーで木を切るところを目の前で見た児童からはその迫力に歓声が上がりました。学校ではできない実物を見る学びのために、森林組合の方にご協力いただきました。児童にとっても印象深い学習となりました。

# 平城宮跡でのフィールドワーク (東吉野小学校)

## 社会見学での問い

社会見学を通して、東吉野小の児童に、奈良県北部ならではの魅力を発見してもらえよう、3つの問いを投げかけました。

- ①平城宮跡を実際に周ってみて、平城宮跡には何があったらいいと思いますか。  
例) 平城宮跡は広いため、疲れたときに使える休憩所を増やす。
- ②平城宮跡にはどのようなお土産があれば魅力的に思いますか。
- ③平城宮跡には電車が通っていて、歴史的景観がさえぎられてしまうこともあるけれど、地下鉄を造るとなれば、地下にある文化的遺産が失われてしまいます。みんなはどうすればいいと思いますか。

これらの問いは、児童の奈良県への愛着度の向上を図るとともに、どのようにすれば、これからの奈良県が発展していくのかについて、児童自身に考えてもらえるきっかけをつくることを目的として設定しました。

## 見学時の児童の様子

平城京に住んでいた人々の暮らしについての学習



実際に歩くことで、平城宮跡の広さや電車が通っていることを学習



### 1日のスケジュール

- 10:00 平城宮跡到着
- 10:15 朱雀大路見学  
棚田嘉十郎について学習
- 10:30 いざない館見学
- 11:40 昼食
- 12:20 朱雀門で写真撮影
- 12:30 朱雀門から大極殿へ移動
- 13:00 大極殿見学  
写真撮影
- 13:30 遺構展示館見学
- 14:00 復元遣唐使船へ移動  
写真撮影
- 14:15 天平みつき館にて振り返り
- 14:30 平城宮跡を出発

棚田嘉十郎について、実際の像を見ながら復習



大極殿の内部を観察



遺跡発掘時のそのままの様子に驚きの声を上げる

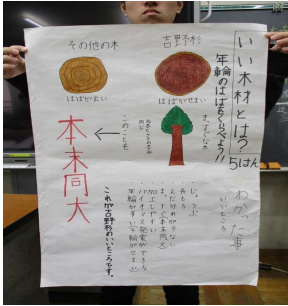




# 交流学習の様子

## ・奈良教育大学附属小学校から東吉野小学校へ

附小の児童は社会見学で川上村の林業について学び、疑問に思ったことや興味のあることについて、6班に分かれ、調べ学習をし、ポスターセッションでの発表を行いました。



間伐や植え付けについての発表を受け、東吉野小からは、「年輪の幅が狭くなるのはどうしてか」など、たくさんの質問が投げかけられました。また、東吉野小は間伐を実際に体験したことがあり、その経験から附小の発表に付け足しをして説明し、学びを深め合いました。

## ・東吉野小学校から奈良教育大学附属小学校へ

東吉野小の児童は社会の授業で習っている日本の歴史や奈良についてクイズを出題しました。附小の児童は積極的にクイズに参加していました。知らなかった内容も多く、児童からは驚きの声が上がっていました。



そのあと、質疑応答を行いました。ここでは、どちらの学校の児童も今までは気にしていなかったことに目を向け、日本の歴史や奈良についてより知ろうという姿勢が見られました。

## ・交流学習を通して

この交流学習を通して、児童たちは積極的に発表や質問をし、積極的に学習内容を相手に発信していました。その姿勢から、「**児童の発信力の向上**」につながったのではないかと考えました。

また、林業や日本の歴史、奈良についてお互いの発表を聞き、児童たちからは「知らなかったことを知れて面白かった」という声が上がっていました。自分が住んでいる地域についてより詳しく知ることによって、「**奈良県に対する愛着度の向上**」「**地域学習の充実**」につながっていくのではないかと考えます。

# 児童の感想

## ☆奈良教育大学附属小学校☆

(A君)

金曜日に、テレビ電話で、東吉野小学校の人たちと話しました。学校に来たら、言語・文化で使う大きなテレビがあったから、びっくりしました。そして、1・2時間目になって、話すと、人数がとても少ないんだなあと思いました。そして、別の班の発表が終わって、1班の番になって、自分が発表する場所を発表すると、かまずにはっきり言えたから、よかったです。ただ、全部の班の発表が終わってから、もう一度、1班がよばれたので、びっくりしました。だけど、東吉野小学校の先生は、「絵がうまかったから、もう一回説明して」といったので、うれしかったです。その後、東吉野小学校の人たちから、奈良についての発表があって、平じょうきゅうせきのことを話してくれました。だけど、ぼくらは、奈良に住んでいるのに、わからないことが、あったから、**それだけ奈良市のことを勉強してくれて、うれしいし、テレビ電話で話せて、よかったです。**

自分自身が住んでいる地域のことについて知らないことはたくさんあって、そのことを違う地域に住んでいる子たちが一生懸命勉強して発表してくれたことは、児童自身の心に強く残ったのではないかと思います。

## ☆東吉野小学校☆

(A君)

附属小学校さんは、ぼくたちは間ばつ体験をしたけど、ぼくたちの知らないことも教えてくれました。質問の時ぼくは、質問できなかったです。ぼくの担当の遣唐使のとき、たくさん質問してくれて、とてもうれしかったし、**30人くらいいたので、最初はすごくきんちょうしたけど楽しかったです。**

(B君)

附属小学校さんと交流したとき、ぼくたちの知らない木の事がわかってすごく楽しかったです。ぼくたちは間ばつ体験をしたとき、木の切り方だけを教えてもらったので、**ほかの事はわかりませんでした。でも、今回の交流授業で、いろいろわかりました。**今回は本当にありがとうございました。

同じ奈良県内の小学校でも人数に大きく差があるということは、児童にとって新発見であり、そんな大人数の前で発表するという体験も東吉野小の児童にとっては貴重な経験になったのではないのでしょうか。また、今回のように、まずは自地域について知ることが、奈良県を知ることにつながるのではないかと思います。

平成30年度 県内大学生が創る奈良の未来事業 優秀賞受賞事業

# 『交換留学ならto奈良』事業

国立大学法人奈良教育大学

事業期間：令和元年7月1日～令和2年2月28日

学生代表：尾崎優真(奈良教育大学教育学部数学教育専修2回生)

参加学生：大西美礼(奈良教育大学教育学部社会科教育専修2回生)

小倉安姫子(奈良教育大学教育学部理科教育専修2回生)

澤田悠(奈良教育大学教育学部保健体育専修2回生)

津田晴己(奈良教育大学教育学部教育学専修2回生)

富本沙羅(奈良教育大学教育学部心理学専修2回生)

正井主路(奈良教育大学教育学部教育学専修2回生)

指導教員：板橋孝幸(奈良教育大学学校教育講座教授)

## 御協力

奈良県教育委員会事務局 学校教育課

奈良教育大学附属小学校

奈良教育大学附属小学校4年3組(12クラス)担任 鈴木啓史先生

奈良教育大学附属小学校4年3組(12クラス)の児童のみなさん

東吉野村立東吉野小学校

東吉野村立東吉野小学校 森亮介先生

東吉野村立東吉野小学校中学年の児童のみなさん

本件問い合わせ先

奈良市高畑町

国立大学法人奈良教育大学

企画連携課(地域連携担当)

TEL 0742-27-9108



# 県民へ周知すべき小学生が発見した奈良県の魅力や課題

## 1 奈良教育大学附属小学校・東吉野小学校中間交流会について

### 1. 概要

日時：令和元年 11 月 22 日 9:05~10:00

場所：奈良教育大学附属小学校・東吉野村立東吉野小学校

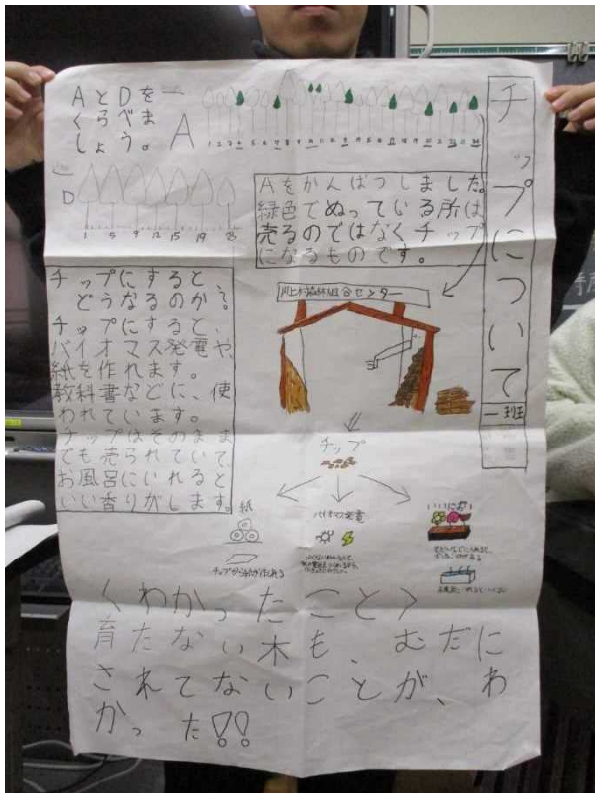
### 2. 発表内容

奈良県北部に位置する奈良教育大学附属小学校と南部に位置する東吉野村立東吉野小学校の児童が、互いの地域について学び、テレビ電話を通してその学んだ成果を発表し合いました。

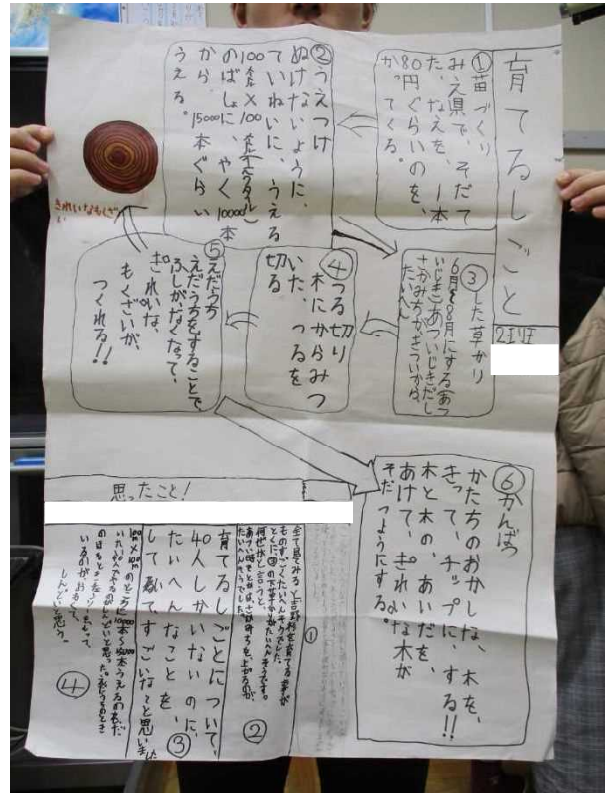
#### 奈良教育大学附属小学校

令和元年 10 月 29 日に林業について学習することを目的に行われた川上村への社会見学で得た学びを 6 班に分かれて、模造紙にまとめ発表しました。

#### 1 班 チップについて

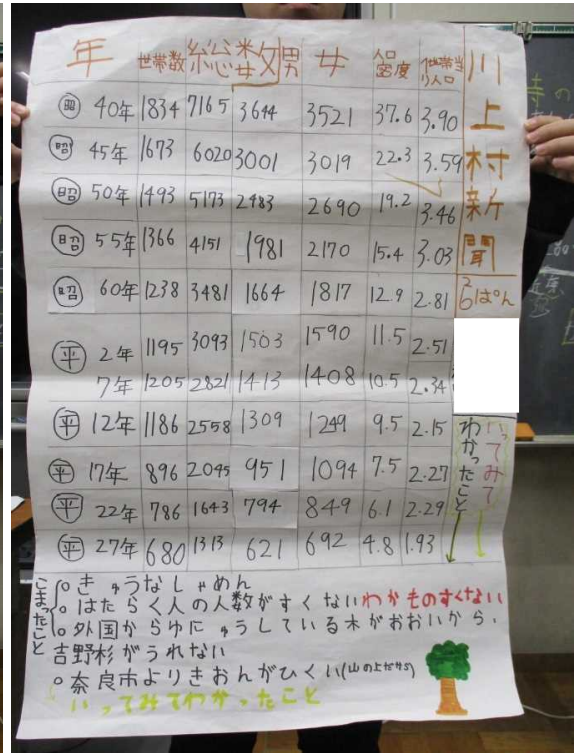
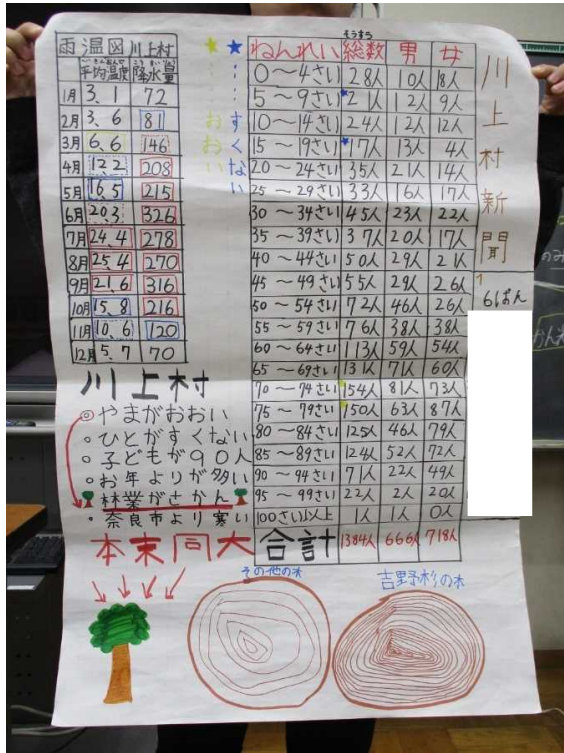


#### 2 班 育てる仕事





6班 川上村について



東吉野小学校

令和元年 11月 28日に行われた平城宮跡への社会見学に向けた事前学習での学びを、4班に分かれて、プレゼンテーションソフトを使ってクイズ形式で発表しました。

- 1班：天武天皇・持統天皇について  
 (クイズ内容) 持統天皇は天皇になる前の名前を何と言ったでしょう。
- 2班：藤原不比等について  
 (クイズ内容) 藤原氏はなぜすごい力をもっていたのでしょうか。
- 3班：遣唐使について  
 (クイズ内容) この時代にできた名前で、今でも使われているものはなんでしょう。
- 4班：行基について  
 (クイズ内容) 近鉄奈良駅の銅像の行基はどこを向いているでしょう。



(クイズに積極的に参加する児童の姿)



### 3. 交流学習を通しての児童の感想

奈良教育大学附属小学校 A君

金曜日に、テレビ電話で、東吉野小学校の人たちと話しました。学校に来たら、言語・文化で使う大きなテレビがあったから、びっくりしました。そして、1・2時間目になって、話すと、人数がとても少ないんだなあと思いました。そして、別の班の発表が終わって、1班の番になって、自分が発表する場所を発表すると、かまずにはっきり言えたから、よかったです。ただ、全部の班の発表が終わってから、もう一度、1班がよばれたので、びっくりしました。だけど、東吉野小学校の先生は、「絵がうまかったから、もう一回説明して」といったので、うれしかったです。その後に、東吉野小学校の人たちから、奈良についての発表があって、平じょうきゅうせきのことを話してくれました。**だけど、ぼくらは、奈良に住んでいるのに、わからないことが、あったから、それだけ奈良市のことを勉強してくれて、うれしいし、テレビ電話で話せて、よかったです。**

東吉野小学校 A君

附属小学校さんは、ぼくたちは間ばつ体験をしたけど、ぼくたちの知らないことも教えてくれました。質問の時ぼくは、質問できなかったです。ぼくの担当の遣唐使のとき、たくさん質問してくれて、とてもうれしかったし、30人くらいいたので、最初はすごくきんちょうしたけど楽しかったです。

東吉野小学校 B君

附属小学校さんと交流したとき、ぼくたちの知らない木の事がわかってすごく楽しかったです。ぼくたちは間ばつ体験をしたとき、木の切り方だけを教えてもらったので、ほかの事はわかりませんでした。でも、今回の交流授業で、いろいろわかりました。今回は本当にありがとうございました。

## 2 平城宮跡を訪れた児童の感想（東吉野小学校社会見学）

東吉野小学校 C君

平城宮せきを奈良市の大学生があんないしてくれました。最後のいこうてんじ室にいて、ぼくは今のかわらと昔のかわらのちがいはないと思っていました。けどじっさいみくらべてみると、大きさもすこしちがうし、重さも（中略）昔のほうが重くてびっくりしました。（中略）なぜ昔のほうが重いのかふしぎに思いました。昔は車や高いところまで行ける仕事に使う車がないのに屋根まではこんでいたと考えました。（中略）平城京を作るのもすべて手作業だと思うので、昔の人はすごくがんばって作ったと思いました。僕たちが大人になったころにはすべてふくげんされているかもしれません。

東吉野小学校 D 君

(略) 一番すごいと思ったのが、柱の石の部分が歩いてきた全部の場所の地かにあるということです。ぼくはどんだけ広いねんと思いました。ぼくはこれほど大きいとは思っていなかったです。想像の 10 倍大きかったです。

東吉野小学校 E 君

(略) さいごに大学生の先生が「みんな平城のように大切にしてそれをひがしよしのにいかしてほしい」といっていました。先生が言っているように、ひがしよしのを大切にしていきたいと思います。

### 3 まとめ

奈良教育大学附属小学校の川上村への社会見学，東吉野小学校の平城宮跡への社会見学，両校の交流学习を通して，奈良県北部地域に在住する児童は知りえなかった奈良県南部地域の特徴や魅力を知り，南部地域に在住する児童もまた北部地域の特徴や魅力を知ることができました。また，児童の感想からもわかるように，児童はそれぞれの地元地域について知らなかったことを再発見することができるとともに，他地域の持つ良い点を地元地域に戻ってから還元したいという気持ちが新たに芽生えた児童もいました。

このように，他地域のことだけでなく，地元地域の魅力を改めて知ることが「奈良県に対する愛着度の向上」，「地域学習の充実」へとつながっていくと考えます。